

令和4年度 第1回 野々市市子ども・子育て会議
会議録（要旨）

日 時：令和4年10月20日（木）

午後7時～

場 所：市役所2階201会議室

1 出席委員 全体会議 19人（全員出席）

2 配布資料

資料1 委員名簿

資料2 野々市市子ども・子育て会議条例

資料3 「野々市市子ども・子育て支援事業計画」中間見直し

資料4 令和4年度 野々市市保育園・認定こども園・幼稚園 利用児童数

資料5 令和4年度放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の状況

資料6 1 旧栗田保育園跡地利用について

2 新園の建設について

3 本町児童館について

4 ののいち子育て応援券について

5 ののいちっ子木育事業について

資料7 令和4年度 子ども・子育て会議スケジュール

3 会議録

◎ 全体会議

1 開会

会議の成立を報告

2 部長挨拶

健康福祉部長挨拶

3 委員紹介

委員、事務局の紹介

4 議事

（1）野々市市子ども・子育て支援事業計画の中間年における見直しについて

説明【事務局】 資料3に基づき説明

【委員】

今の説明内容というのは、実績と見込みが乖離しているものに対して、こういうふうには修正しますという内容で間違いないですか。

何をもって見直すのか、この数字だけを見て何を判断すればいいのか、というところが読み取れないので、次回の時には、ここに至った経緯や対策案というものを出示していただけたらよりわかりやすいですし、意見もしやすいのではないかと思います。

説明【事務局】

委員の言われるとおり、説明が足りなかったところがあったと思いますので、次回の会議では説明の足りなかったところについても、分析を進めて説明させていただきます。

【委員】

今回のような見直しを行う際には2年間、各事業に携わってきた担当者の意見があるほうが、今後の改善にも繋がると思います。

【委員】

今ほどのご意見については、おっしゃる通りで、事業を展開していく中での実情を知りたいというのが私たちの思いだと思うのです。

その思いを前提としながら、要因分析をされて、中間見直しをしていただきましたので、この2年間にどんな動きをしているのかということが、おぼろげではありますがわかりました。

現在行っている13事業の状況を説明していただき、維持していく方針を持ってくださっているので、この13事業がきちんと進められることを望みたいと思います。

追加事業の子ども家庭総合支援拠点設置の中で、専門資格を持った子ども家庭支援員及び虐待対応専門員が配置されているということですが、4月スタートでわずかな期間ではありますが、事業の展開実績等を教えていただければと思います。

説明【事務局】

子供家庭総合支援拠点については、今年度4月から子育て支援課内に設置しております。

体制としては、社会福祉士2名、保育士1名ということになっております。

実績でございますが、要保護児童対策地域協議会の業務を兼務しており、関係機関との連携を強化しながら、虐待案件について、対応しているという状況です。

(2) 野々市市の保育園・認定こども園の状況について

説明【事務局】 資料4に基づき説明

《質疑なし》

(3) 放課後児童クラブの状況について

説明【事務局】 資料5に基づき説明

《質疑なし》

5 報告事項

- ・旧栗田保育園跡地利用について

説明【事務局】 資料6－1に基づき説明

【委員】

児童に関すること、資料に記載のあった重症心身型放課後等デイサービスについて、少し関心がございます。どのような内容でしょうか。

説明【事務局】

この重症心身型放課後等デイサービスは、障がいをお持ちのお子様が、小・中学校の帰りなどに利用する、通所型の施設になっております。

重症心身型とありますのは、医療的ケア等が必要な重症重度の障がいをお持ちの方が利用可能な施設ということになっております。

- ・新園の公募結果について

説明【事務局】 資料6－2に基づき説明

《質疑なし》

- ・本町児童館の閉館について

説明【事務局】 資料6－3に基づき説明

【委員】

本町児童館閉館イベントは、利用者や保護者だけで簡単にやるのですか。それとも大々的にやるのでしょうか。

説明【事務局】

広報にも掲載しておりまして、児童館をよく利用しているお子さんの他にも、広く来館していただくことを期待しております。

- ・ののいち子育て応援券について

説明【事務局】 資料6－4に基づき説明

【委員】

子育て応援券の1万2,000円分を配布するというのは、一応今年度限りっていうことでよろしいでしょうか。

説明【事務局】

昨年度につきましてはコロナ対策として 6,000 円で始めております。

今年度については、今般の物価高ということで、更に 6,000 円プラスして 1 万 2,000 円としております。担当課としてはずっと続けたいとは思っていますが、始めたきっかけというのがコロナ対策や、物価高ということですので、財源のこともあり、長く続くかどうかというのは、まだ担当課としても不透明な部分ではございます。

【委員】

子育て応援券の使用率が 98%ということですので、おそらくとても効果的というか、満足いただける支援になっているのではないかなと思いますが、申請率を教えてください。

説明【事務局】

出生届を出された後に、子育て支援課で行う児童手当や医療費の手続きとあわせて申請のご案内をしておりますので、基本的にはほぼ 100%に近いと思っております。

・ののいちっ子木育事業について

説明【事務局】 資料 6－5 に基づき説明

【委員】

木育という事業は他でもしているのでしょうか。価格、需要についても教えてください。

説明【事務局】

大体 10 年ぐらい前から北海道から始まった言葉で、全国的に少しずつ広まりつつあるようですが、石川県でこういったことを始めるのは野々市市が最初になると思います。

7 月から贈呈を始めたのですが、4 月出生まで案内をしています。まだ 175 件なのですが、申請申し込み期限は来年の 4 月までとなっていますので、随時、申し込みを受け付けするという形でご案内しています。価格は箱代も含めて 5,100 円になります。

【委員】

木育について、私はその 175 件のうちの 1 件でして、7 月に子どもが生まれまして、今 3 ヶ月目ぐらいでまだちょっと触るには早いので横には置いてあるのですが、この事業は財源のある限り、続けていただければと思っております。

6 その他

・就学前人口・就学児人口について

説明【事務局】 「就学前人口・就学児人口」について説明

【委員】

今年、市内に家を建て、先日、引っ越しをしたのですが、白山市のように新築すると何十萬円の補助があるような制度があればいいなと思います。

説明【事務局】

定住促進ということ言えば、子育て支援だけではない大きな事業になると思いますので、全庁を挙げて定住促進に向けた事業を考えていかなければいけないと思っております。

・令和４年度 子ども・子育て会議スケジュールについて

説明【事務局】 資料７に基づき説明

《質疑なし》

７ 閉会